

集約化や価格転嫁を学ぶ

「経営者セミナー」を2月17日、仙台市にて開催しました。

東愛知協組の新木理事長から、工場集約化と協組広域化について、公正取引委員会東北事務所から、協組と独禁法等について、それぞれご講演を頂きました。



新木理事長

参加者からは「集約化は〇県でも必要なプロセス。新木理事長の講話は勉強になった」「独禁法に抵触するラインを知ることができ大変参考になった」等、好評でした。

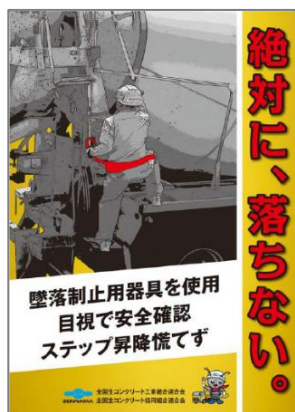
労働災害撲滅～教育と注意喚起を!

2月、全生連から組合に対して、2種類の安全ポスターが配付されました。

令和7年に全生連に報告があった労災事故は、死亡事故2件を含む17件。前年比1件増でした。引き続き、生コン車からの転落と、挟まれ巻き込まれ事故が多いようです。

日々の教育・注意喚起の繰返して、労災撲滅に努めましょう。ご安全に!

全生連作成の[安全教育動画\(youtube\)](#)あります。



令和8年度 品監説明会

3月18日、令和8年度品質管理監査説明会(東北地区)が開催されました。

全国会議の辻議長から、監査制度の経緯や仕組み、令和7年度監査結果について説明があり、特に今年度は規程類を整理したとの報告がありました。

また、二羽委員長から、A0103(クローズング会議)で、経営者の原則、対面出席を明

記したこと。A0603(産業廃棄物処理)で、チェック項目をフローチャートにして分かり易いようにした等の説明がありました。

正・副本部長会議、委員会のポイント

(1~3月に開催された地区本部の会議)

- ・全生工組連の賦課金が、令和8年10月分から+3円の方で議論。
- ・環境負荷低減(2024年度CO2排出量)に関するアンケートに工場は協力を!
- ・リサイクル材の利用促進(グリーン水®、グリーン骨材®)をPR中。
- ・セメントJIS改正によりセメントSDSが改定。全生連は生コンの標準SDSに追記。
- ・全生連がカーボンフットプリント算定ルールを策定。今後、算定ツールが提供され、協組単位でCO2排出量を公表する方向。
- ・令和8年度の需要想定は5900万m³。前年想定比92.9%。中国地区のみプラス。
- ・外国人の育成就労制度に「生コンクリート製造業」が追加され、来春、受入れ可能に。
- ・正・副本部長会議で、東北地区本部事務局の改革に係る協議が続いています。

コンクリート甲子園、今年の課題は?

今年の強度部門の課題は『目標圧縮強度を25~29N/mm²の範囲において各自で設定し、その値に近いものを上位とする。また、必ず環境に配慮した材料を全部または一部、使用すること』になりました。

組合・工場の方々には、高校等に対して、参加の勧奨・支援をお願いいたします!



生コン Data

	総出荷量 (前年比)	価格(建設物価) (18-18-25 県庁所在地等平均)
東北	95.3% (4-2月)	21,533円~4月号
全国	91.6% (4-2月)	22,667円~4月号

総出荷量：青森 88.7% 秋田 100.2% 岩手 85.4%
山形 110.6% 宮城 100.7% 福島 89.9%

地区本部の行事予定

4月	地区本部より各協組に対して、全生連役員に係る推薦委員の承諾を求める文書を発出
4月28日	正・副本部長会議
6月2日	総会

